第2章 電話

電話をかける

親機で電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた　取り外してもOK！

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら ダイヤルする

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは、ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（下記）。

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 電話帳 | 着信記録 | 登録/機能

3 相手の方とお話しする

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは、ディスプレイ左上におよその通話時間を表示します。

00:29 メモリー受信

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 電話帳 | 着信記録 | 登録/機能

4 通話が終わったら 受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **電話がかけられないときは（☞8-12ページ）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（☞9-8ページ）を「なし」にします。

■ **通話中にファクスを受信するときは**

親機で通話中のときは FAXスタート 、子機で通話中のときは 機能 を押します。

■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

オンフック を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、**相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。**

■ **ワイヤレスカラー液晶の電話帳で電話をかけるときは（☞2-19〜2-20ページ）**

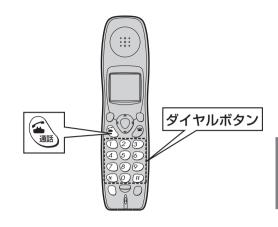
■ **ワイヤレスカラー液晶で着信記録を使って電話をかけるときは（☞7-14ページ）**

お知らせ

● 表示される通話時間は59分59秒までです。
この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。

● 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。
通知する／しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。

子機で電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

子機で操作

1 充電器から取って
(通話) **を押す**

●通話ボタンが点灯します。

●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（☞2-8ページ）

2 「ツー」という音が
聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

●通話時間の表示は、約 5 秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**

(切) を押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
（☞8-33ページ）

■ **通話中にファクスを受信するときは**

(機能) を押します。

■ **子機の電話帳で電話をかけるときは****（☞2-24～2-25ページ）**

■ **子機で着信記録を使って電話をかけるときは**
（☞7-15ページ）

お知らせ

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話を受ける

親機で電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。

操作のしかた

取り外してもOK！

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 相手の方とお話しする

●ディスプレイ左上におよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（親機の呼出音量を変える ☞1-44ページ）

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞9-8ページ）

■ **通話中にファクスを受信するときは**
（☞2-2ページ）

■ **「着信がありました」と表示されているときは**
着信記録 にタッチすると、電話がかかってきた日時を確認することができます。
ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や電話帳に登録されている名前を表示します。（☞7-12ページ）

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-5ページ）
- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると０秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。

操作のしかた 子機で操作

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。（最大59：59まで）

3 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約５秒後に消えます。

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞9-8ページ）

■ **呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは**

呼出音が鳴っているときに（切）を押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときは、もとの設定している呼出音が鳴ります。

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（子機の呼出音量を変える　☞1-47ページ）

お知らせ

- 子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話を設定する　☞5-16ページ）
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-5ページ）
- 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。
- 子機はネーム・ディスプレイには、対応していません。

ワイヤレスカラー液晶で電話をかける／受ける（スピーカーホン）

電話をかける（親機から取り外しているとき）

ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときに、ワイヤレスカラー液晶で電話をかけることができます。

操作のしかた　タッチペン　置いたまま

1 **電話モード にタッチする**

2 **画面の数字にタッチして電話番号をダイヤルする**

●入力をまちがえたときは、取 消 にタッチするとひとつ前の数字が消えます。

3 **通 話 にタッチする**

4 **相手の方とお話しする**

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。

5 通話が終わったら **切 にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

切 にタッチします。

■ **電話がかけられないときは（☞8-18ページ）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（☞9-8ページ）を「なし」にします。

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（ワイヤレスカラー液晶のスピーカ音量を変える☞1-50ページ）**

■ **ワイヤレスカラー液晶の電話帳で電話をかけるときは（☞2-19～2-20ページ）**

■ **ワイヤレスカラー液晶で着信記録を使って電話をかけるときは（☞7-14ページ）**

■ **通話中にファクスを受信するときは**

FAX切替 にタッチします。

お知らせ

- 表示される通話時間は59分59秒までです。
  この時間を超えると０秒から新しくカウントされます。
- 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。
  通知する／しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
- ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外して通話しているときは、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると電話が切れてしまいます。

電話を受ける（親機から取り外しているとき）

ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときに、ワイヤレスカラー液晶で電話を受けることができます。

操作のしかた タッチペン 置いたまま

1 呼出音が鳴ったら [通 話] **にタッチする**

● [音量 小] や [音量 大] にタッチすると、呼出音量を変えることができます。

2 **相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら [切] **にタッチする**

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（ワイヤレスカラー液晶の呼出音量を変える ☞1-46ページ**）**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞9-8ページ）

■ **通話中にファクスを受信するときは**
[FAX切替] にタッチします。

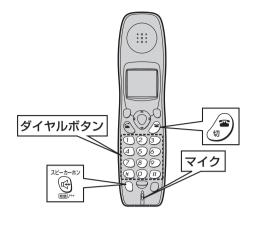
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**
（ワイヤレスカラー液晶のスピーカー音量を変える ☞1-50ページ**）**

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-5ページ）
● 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。
● ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外して通話しているときは、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると電話が切れてしまいます。

子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

電話をかける

子機を充電器に置いたまま電話をかけてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた

子機で操作

1 スピーカーホン（発信）**を押す**

●通話ボタンが点灯して、ディスプレイの マークが表示されます。

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。

●通話中は通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら 切 **を押す**

●通話時間（目安）は約５秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
（☞8-33ページ）

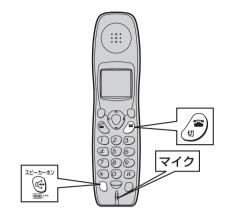
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**
（子機のスピーカー音量を変える ☞1-51ページ）

お知らせ

● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えることができます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

電話を受ける

子機を充電器に置いたまま電話を受けてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた 子機で操作

1 呼出音が鳴ったら

スピーカーホン を押す

●通話中は通話時間（目安）を表示します。

●通話ボタンが点灯して、ディスプレイの マークが表示されます。

2 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら

切 を押す

●通話時間（目安）の表示は、約５秒後に消えます。

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**
（子機のスピーカー音量を変える ☞1-51ページ**）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（子機の呼出音量を変える ☞1-47ページ**）**

お知らせ

● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）

● 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに呼出音が鳴ります。

操作のしかた 消灯

1 機能 **を押し、▲ または ▼ で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ**

ﾕｳｾﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ

2 機能 **を押す**

- 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。
- 「優先呼出を設定しました」と音声メッセージが流れます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順１～２の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。
「優先呼出を解除しました」と音声メッセージが流れます。

優先呼出の表示が消えます

お知らせ

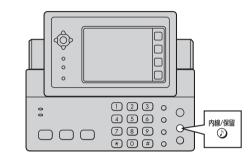
- 設定後、９時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、１台のみです。UX-WB10CWをお使いのとき、またはUX-WB10CLで子機を増設してお使いのときに、すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機やワイヤレスカラー液晶や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中、プリント中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。コピー・プリント終了後は、子機で受けることができます。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。
（曲名：「夢路より」）

親機で通話中にお待たせする

操作のしかた

取り付けて操作

1 通話中に
内線/保留を押して、
受話器を戻す

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは
受話器を取る

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

●受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線/保留ボタンを押すと、再び通話できます。

■ 保留中に他の電話機で電話に出るときは
（ひとり転送　☞2-38ページ）

ワイヤレスカラー液晶で通話中にお待たせする

操作のしかた　タッチペン

1 通話中に
保留 **にタッチする**

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

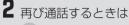
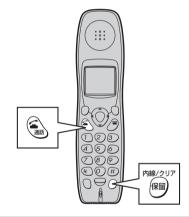
●保留中は、保留 が点滅します。

2 再び通話するときは
保留 **にタッチする**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送 **☞2-40ページ）**

子機で通話中にお待たせする

操作のしかた　子機で操作

1 通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは
通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送 **☞2-39ページ）**

お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外して保留にしているときに、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると電話が切れてしまいます。

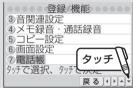
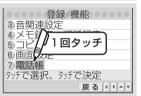
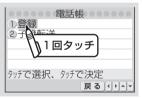
ワイヤレスカラー液晶の電話帳に登録する

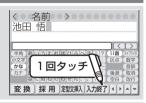
ワイヤレスカラー液晶の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。ワイヤレスカラー液晶には最大100人分の番号を登録できます。１人につき２つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。
また、相手の方のメールアドレスを登録することができます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 ▼ **または** ▲ **にタッチして「電話帳」を選ぶ**

3 「電話帳」にもう一度タッチする

4 「登録」にタッチする

5 名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）
（☞1-56～1-70ページ）

●名前の入力を省略するときは、 入力終了 にタッチして手順８に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。
また、メールアドレスのみ登録すると名前のところにメールアドレスが表示されます。

6 入力終了 **にタッチする**

7 「読み」が正しければ 入力終了 **にタッチする**

●「読み」に変更があれば修正します。
（☞1-56～1-70ページ）
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。

●名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

次ページへ→

■ **１つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

→つづき

8 電話番号（第1番号）を入れる（最大32ケタ）

●番号を入れまちがえたときは、取消にタッチすると、１つ前の番号を消去できます。

●メールアドレスを登録する場合は、第１番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして、手順11に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第１番号の入力は省略できません。）

●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせるとき（☞7-20～7-21ページ）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

9 入力終了 にタッチする

10 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）

●第２番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順11に進んでください。

11 入力終了 にタッチする

12 メールアドレスを入れる（最大半角50文字）

●第１番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順13に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第１番号の入力は省略できません。）

●メールをご利用時に使用します。
（☞6-25ページ）

13 入力終了 にタッチする

●続けて登録するときは手順４～13をくり返し行ってください。

14 おわる にタッチする

2 電話 ワイヤレスカラー液晶の電話帳に登録する

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **文字の入力をまちがえたときは**

後退 にタッチすると、カーソルのひとつ前の文字が消えます。
取消 にタッチすると、カーソルのかかっている文字が消えます。文字にカーソルがかかっていないときは、ひとつ前の文字が消えます。

先に 電話帳 にタッチしてから登録することもできます

① 電話帳 にタッチする
② 一覧表示 にタッチする
③ 新規登録 にタッチする
④ 2-13〜2-14ページの手順５から手順14の操作をする

■ **登録した内容を確認するときは**

① 電話帳 にタッチする
② 一覧表示 にタッチする
③ 確認したい相手の方にタッチしてから、詳細表示 にタッチする
④ 確認後、おわる にタッチする

■ **電話帳リスト画面の見かた**

電話帳 にタッチし、一覧表示 にタッチすると、登録されている番号の一覧が表示されます。
ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときのみ、コピー/印刷 を押して電話帳リストをプリントすることができます。

■ **ワイヤレスカラー液晶の電話帳の番号や名前を子機にも登録するときは（☞2-26ページ）**

■ **ポーズについて**

第１番号、第２番号の入力時に、ポーズ にタッチすると約３秒間の待ち時間ができます。続けて入力することもできます。（親機に取り付けて操作しているときは 再ダイヤル を押して入力することもできます。）
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

お知らせ

- ワイヤレスカラー液晶の電話帳には、あらかじめ次の３件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177
≫番号案内	104

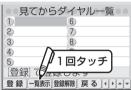
- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストの詳細表示をして、確かめてください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-20〜7-21ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号か、メールアドレスが名前として登録されます。

ワイヤレスカラー液晶の電話帳を修正する

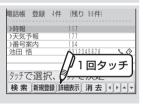
登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 電話帳 **にタッチする**

2 一覧表示 **にタッチする**

3 修正する相手の方にタッチする

●表示されていない相手の方を選ぶときは ▲ または ▼ にタッチして選びます。

4 詳細表示 **にタッチする**

5 修 正 **にタッチする**

6 名前を入れ直す
(☞1-50～1-70ページ)

●修正したい部分にカーソルを移動させて文字を修正します。（☞1-64ページ）

●名前を修正しないときは手順７に進んでください。

7 入力終了 **にタッチする**

8 「読み」を入れ直す
(☞1-56～1-70ページ)

●修正したい部分にカーソルを移動させて文字を修正します。（☞1-64ページ）

●「読み」を修正しないときは手順９に進んでください。

9 入力終了 **にタッチする**

10 電話番号（第１番号）を入れ直す

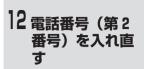
● 取消 にタッチするたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、入れ直します。

●第１番号を修正しないときは手順11に進んでください。

11 入力終了 **にタッチする**

次ページへ→

→つづき

12 電話番号（第２番号）を入れ直す

●第２番号を修正しないときは手順13に進んでください。

13 入力終了 にタッチする

14 メールの宛先を入れ直す

●修正したい部分にカーソルを移動させて文字を修正します。（☞1-64ページ）

15 入力終了 にタッチする

16 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

ワイヤレスカラー液晶の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

1 電話帳 にタッチする

2 一覧表示 にタッチする

3 消去する相手の方にタッチする

4 消 去 にタッチする

5 もう一度、消 去 にタッチする

●消去をやめるときは 戻 る にタッチします。

6 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **ワイヤレスカラー液晶の電話帳をすべて消去するときは（☞9-4ページ）**

お知らせ

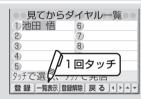
● ワイヤレスカラー液晶の電話帳の内容を消去すると見てからダイヤル（☞2-28ページ）の登録内容も自動的に消去されます。

ワイヤレスカラー液晶の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。

操作のしかた タッチペン　置いたまま

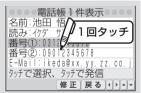
1 電話帳 にタッチする

2 一覧表示 にタッチする

3 電話をかける相手の方にタッチする

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

●表示されていない相手の方を選ぶときは、▲または▼にタッチして選びます。

4 詳細表示 にタッチする

5 電話番号（第1番号または第2番号）にタッチする

●第1番号に電話をかけるときは、手順3のあと、受話器を取ってかけることができます。

■ **途中でやめるときは**

相手の方を選んでいるときは おわる にタッチします。
通話中は受話器を戻します。

6 受話器を取る

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

7 相手の方とお話しする

8 通話が終わったら**受話器を戻す**

■ **ワイヤレスカラー液晶を取り外した状態で、相手の方を選んで電話をかけるには**

手順5のあと、選んだ番号にもう一度にタッチします。

■ **受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるとき）**

① 受話器を取る

② 「184」や「186」をダイヤルする（親機が発信中のときは、③～⑧の操作を行うことができません。少し待ってから③～⑧の操作を行ってください。）

③ 電話帳 にタッチする

④ 一覧表示 にタッチし、電話をかけたい相手の方にタッチする
第1番号に電話をかけるときは、このあと選んだ相手先にもう一度タッチしてかけることができます。

⑤ 詳細表示 にタッチし、電話番号（第1番号または第2番号）にタッチする

⑥ 選んだ番号にもう一度タッチする

⑦ 相手の方とお話しする

⑧ 通話が終わったら受話器を戻す

相手の方の名前で検索して電話をかける

名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた タッチペン　取り付けて操作　置いたまま

1 電話帳 **にタッチする**

2 一覧表示 **にタッチする**

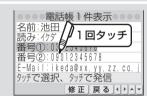
3 検 索 **にタッチする**

4 名前の「読み」を入力する
(☞1-56〜1-70ページ)

●「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

5 入力終了 **にタッチする**

6 詳細表示 **にタッチする**

7 電話番号（第1番号または第2番号）にタッチする

●第1番号に電話をかけるときは、手順5のあと、受話器を取ってかけることもできます。

8 受話器を取る

●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

9 相手の方とお話しする

10 通話が終わったら
受話器を戻す

■ 途中でやめるときは

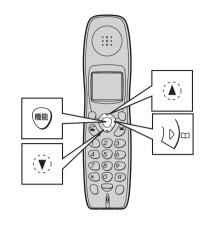
相手の方を選んでいるときは おわる にタッチします。
通話中は受話器を戻します。

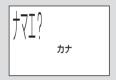
■ ワイヤレスカラー液晶を取り外した状態で、相手の方の名前で検索して電話をかけるには

手順7のあと、選んだ番号にもう一度タッチします。通話が終わったら 切 にタッチします。

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
１台につき最大100人分の番号を登録できます。

操作のしかた

1 を押す

2 名前を入れる（最大12文字）
（☞1-71～1-74ページ）

イケダ　サトシ
カナ

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。
（12ケタまで）

3 機能 を押す

4 電話番号を入れる（最大16ケタ）

●番号を入れまちがえたときは内線/クリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。

●内線/クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

5 機能 を押す

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

●続けて登録するときは手順１～５をくり返し行ってください。

■ 途中でやめるときは
切 を押します。

■ 子機で登録した電話帳番号や名前をワイヤレスカラー液晶にも登録するときは（☞2-27ページ）

■ ポーズについて
（再ダイヤル）ボタンを押すと、約３秒間の待ち時間ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

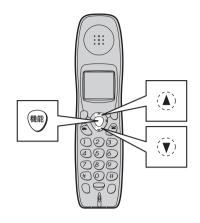
子機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号を修正することができます。

操作のしかた

 消灯

1 ▲または▼で相手の方を選ぶ

イケダ サトシ

2 機能を2回押す

0312345678

3 電話番号を入れ直す

0387654321

- 内線/クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- 内線/クリアボタンを2秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4 機能を押す

ノコリ 95

■ **途中でやめるときは**

切を押します。

お知らせ

- 子機の電話帳にはあらかじめ、3人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫バンゴウアンナイ	104

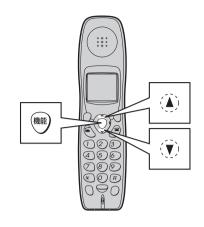
- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-22ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞7-2ページ）や着信鳴り分け（☞7-22ページ）が働かなくなります。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。
- 子機に登録した名前を修正することはできません。

子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

操作のしかた　（通話）消灯

1 （▲）または（▼）で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 （機能）を押し、（▲）または（▼）で「ショウキョ」を選ぶ

ショウキョ

3 （機能）を２回押す

● 「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

子機の電話帳で電話をかける

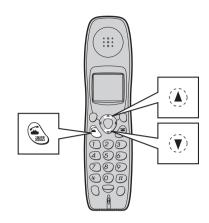
相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

操作のしかた

（通話）消灯

1 （▲）または（▼）で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

●相手の方を選んだあと、（▶）を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 （通話）を押す

0312345678

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

●ダイヤルを始めます。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら **充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ 途中でやめるときは

（切）を押します。

■17ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。
（チェーンダイヤル機能）

① 手順1～2または「相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける」（☞2-25ページ）の手順1～4を行い、最初の番号をダイヤルする

② （▶）を押す

③ 手順1～2または「相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける」（☞2-25ページ）の手順1～4を行い、次のダイヤルをする

お知らせ

● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

操作のしかた 消灯

1 を押す

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

（例）「イ」で探す：
1ア を 2 回押す

3 を押す

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

4 ▲または▼で相手の方を選んだあと、通話を押す

- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする

6 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

ワイヤレスカラー液晶と子機の間で電話帳を転送する

ワイヤレスカラー液晶で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳をワイヤレスカラー液晶に転送することができます。ワイヤレスカラー液晶から子機へ転送すると、登録されている「読み」と第１番号が追加されます。また、子機からワイヤレスカラー液晶へ転送すると、登録されている「名前」と「読み」と第１番号が追加されます。

ワイヤレスカラー液晶の電話帳を子機に転送する

操作のしかた タッチペン 取り付けて操作

1 登録/機能 にタッチする

2 ▲または▼にタッチして「電話帳」を選ぶ

3 「電話帳」にもう一度タッチする

4 「子機転送」に２回タッチする

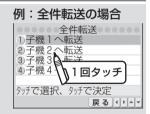
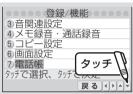
すべて転送するときは

5 「全件転送」にタッチする

1件ずつ転送するときは

5 ①「1件毎転送」に２回タッチする
②転送したい相手の方をタッチして選ぶ
③選んだ相手の方にもう一度タッチする

6 転送先をタッチして選ぶ

例：全件転送の場合

7 選んだ転送先にもう一度タッチする

- データが転送されます。ただし、17ケタ以上の番号で登録しているデータや、メールアドレスのみ登録しているデータは転送できません。

■ 途中でやめるときは

おわる を押します。

■ １つ前に戻るときは

戻る にタッチします。

■ 「転送できないデータがあります 操作を続けますか？[決定]で転送します」と表示されたときは

この表示はワイヤレスカラー液晶に17ケタ以上の番号で登録しているときや、メールアドレスのみ登録しているときに表示されます。
決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。
また、上記のデータを１件だけ子機に転送しようとすると、「転送できません」と表示されます。このときはデータを転送できません。

お知らせ

- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- ワイヤレスカラー液晶の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。件数を超えたときは、「件数が一杯です」と表示されます。不要な電話帳を消去してください。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機の電話帳をすべてワイヤレスカラー液晶に転送する

操作のしかた

1 機能 を押し、▲ または ▼ で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ

デ ンワチョウテンソウ

2 機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

子機の電話帳を１件ずつワイヤレスカラー液晶に転送する

ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外していると転送できません。必ずワイヤレスカラー液晶を取り付けて操作してください。

操作のしかた 取り付けて操作

1 ▲ または ▼ で転送したい相手の方を選んだあと、機能 を押す

バ ンゴ ウヘンコウ

2 ▲ または ▼ で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

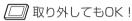
お知らせ

● 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
● 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
● 転送する件数と登録できる件数を確認してワイヤレスカラー液晶や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
● お買いあげ時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報、番号案内）を転送することはできません。
● 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
● 子機の電話帳を転送しても、ワイヤレスカラー液晶に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
● 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

見てからダイヤルを利用する

見てからダイヤルに番号を登録する

よく利用する電話番号を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたりファクスを送ることができます。（見てからダイヤル）
見てからダイヤルは10件まで登録できます。
見てからダイヤルに登録するには、あらかじめワイヤレスカラー液晶の電話帳に番号を登録しておく必要があります。（☞2-13〜2-15ページ）

操作のしかた　タッチペン　

1 電話帳 にタッチする

- 見てからダイヤルが１件も登録されていないときは「[登録]で登録します」と表示されます。
- すでに電話番号が登録されている見てからダイヤルには、相手の方の名前が表示されています。

2 番号を登録したい登録先にタッチして選ぶ

3 登 録 にタッチする

- 番号を登録できるのは10件までです。10件登録されている状態で新たに登録する場合は、不要な見てからダイヤルの登録を解除してから（☞2-29ページ）、登録してください。

4 登録したい相手の方をタッチして選ぶ

- 親機の電話帳リストから登録したい相手の方を選びます。
- 表示されていない相手の方を選ぶときは ▲ または ▼ にタッチして選びます。

5 選んだ相手の方にもう一度タッチする

- 見てからダイヤルに登録されます。
- 見てからダイヤルに登録できるのは第１番号のみです。
- 見てからダイヤルでは電話帳に登録されている名前の先頭の全角５文字（半角10文字）のみ表示されます。

6 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **一つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

■ **見てからダイヤルに登録した内容を修正するときは**

もとの電話帳の登録内容を修正してください。
（☞2-16～2-17ページ）

■ **見てからダイヤルの登録を解除するときは**

「見てからダイヤルに番号を登録する」の手順２で、解除したい登録先をタッチして選び、登録解除に２回タッチします。
また、登録されている項目を電話帳から消去すると、見てからダイヤルの登録は解除されます。

お知らせ

● 見てからダイヤルを登録する画面から登録内容を修正することはできません。
● ワイヤレスカラー液晶の電話帳の内容を修正または消去すると、見てからダイヤルの登録内容も自動的に更新されます。
● 見てからダイヤルの一覧画面では、相手先の名前は全角５文字（半角10文字）までしか表示されません。
● 電話帳に１件も番号が登録されていないとき見てからダイヤルに登録しようとすると、「電話帳に登録がありません」と表示されます。電話帳に番号を登録してから、再度手順１～６を行ってください。

見てからダイヤルで電話をかける

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

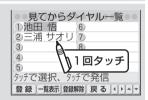
1 受話器を取る

ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは

電話モード にタッチする

2 電話帳 にタッチする

3 電話をかける相手の方にタッチして選ぶ

●ダイヤルボタン（1～0）を押して選ぶこともできます。

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

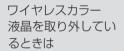
4 選んだ相手の方にもう一度タッチする

●相手の方の名前が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする

●ワイヤレスカラー液晶を取り外したときはスピーカーホン通話になります。

6 通話が終わったら **受話器を戻す**

ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは

にタッチする

お知らせ

● 番号が登録されていない項目にタッチすると、「登録されていません」と表示されます。

● 見てからダイヤルで電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

ホットラインダイヤルを利用する

子機ではよく電話をかける相手の方をホットラインダイヤル（1件）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。(☞2-21ページ)

ホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた

1 **▲または▼で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ**

2 **ホットラインダイヤルを押す**

●「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3 **切を押す**

ホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた

1 **ホットラインダイヤルを押す**

●スピーカーホン通話で電話をかけます。
●通話ボタンが点灯し、ディスプレイの マークが表示されて、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら **相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら **切を押す**

■ **途中でやめるときは**
切を押します。

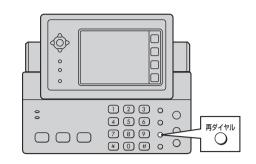
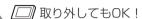
■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**
ホットラインダイヤルを2秒以上押します。
（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。）

お知らせ

● 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。

操作のしかた

1 **受話器を取る**

2 ツーという音が聞こえたら
再ダイヤル ○ **を押す**

- 親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
- 最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**
受話器を置いたまま操作します。

① 再ダイヤル ○ を押す
② キャッチ/消去 ○ を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
- ワイヤレスカラー液晶の操作では再ダイヤルはできません。

子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、最大３件記憶されています。

操作のしかた

子機で操作

1 子機を充電器から取って
を押す

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 **▲ または ▼ で選び、通話 を押す**

●子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

●子機を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能 を押し、▲ または ▼ で「サイダイヤルクリア」を選ぶ

② 機能 を押す

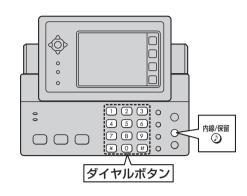
③ もう一度、機能 を押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話しする

親機から子機を呼び出して、お話しします。

操作のしかた　取り外してもOK！

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき 1

子機呼び出し　1
画 質

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

3 親機　子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）

② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

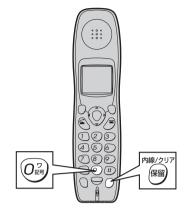
① 切 を押す（内線通話が切れます。）

② 子機の呼出音が鳴り始めたら、 通話 を押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

- 内線通話では、保留はできません。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- ワイヤレスカラー液晶では、内線通話はできません。

子機から親機を呼び出してお話しする

子機から親機を呼び出してお話しします。

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って

内線/クリア（保留）を押し、「ナイセン：」と表示されたら親機の内線番号（0 ワ 記号）を押す

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

3 親機 子機

お話しする

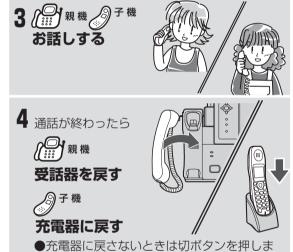
4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

● 子機のスピーカーホンでの内線通話はできません。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

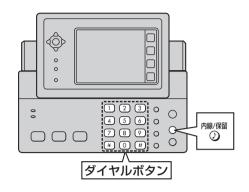
親機から子機へ電話をとりつぐ

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

操作のしかた 取り外してもOK！

1 親機

通話中に
内線/保留 **を押し、**
子機の内線番号を押す

内線/保留 ▶ 1
（例）子機１のとき

●相手の方には、保留メロディーが流れます。
●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
●子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●通話ボタンが点灯します。

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す

●受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

次の（操作方法１）または（操作方法２）の操作をします。

（操作方法１）

① 内線/保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）

① 受話器を戻す
② 再度、受話器を取る
（相手の方との通話に戻ります。）

お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶では、親機や子機とのとりつぎ転送はできません。

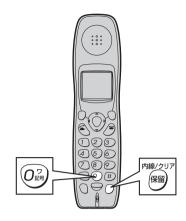
子機から親機へ電話をとりつぐ

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 子機

通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、**

「ナイセン：」
と表示されたら
親機の内線番号
（0 ワ 記号）を押す

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

●このあと、親機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① 内線/クリア 保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/クリア 保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

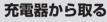
かかってきた電話を自分ひとりで親機からワイヤレスカラー液晶または子機、子機から親機またはワイヤレスカラー液晶にとりつぐことができます。
また、UX-WB10CWをご利用時または、UX-WB10CLで子機を増設（☞5-21ページ）されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へとりつぐ

操作のしかた

取り外してもOK！

1 親機
通話中に
内線/保留 **を押し、受話器を戻す**

2 子機
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

親機からワイヤレスカラー液晶へとりつぐ（親機から取り外しているとき）

操作のしかた

1 親機
通話中に
内線/保留 **を押し、受話器を戻す**

2 ワイヤレスカラー液晶
電話モード にタッチする

3 ワイヤレスカラー液晶
通話 にタッチする

●相手の方とお話しできます。

子機から親機へとりつぐ

操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア
保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

保留音が鳴ったら
受話器を取る

●相手の方とお話しできます。

子機からワイヤレスカラー液晶へとりつぐ（親機から取り外しているとき）

操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア
保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 ワイヤレスカラー液晶

電話モード **にタッチする**

3 ワイヤレスカラー液晶

通 話 **にタッチする**

●相手の方とお話しできます。

ワイヤレスカラー液晶から親機へとりつぐ（親機から取り外しているとき）

操作のしかた

1 ワイヤレスカラー液晶

ワイヤレスカラー液晶で通話中に

保留 **にタッチする**

● 保留 が点滅します。

2 ワイヤレスカラー液晶

切 **にタッチする**

3 親 機

保留音が鳴ったら

受話器を取る

●相手の方とお話しできます。

ワイヤレスカラー液晶から子機へとりつぐ（親機から取り外しているとき）

操作のしかた

1 ワイヤレスカラー液晶

ワイヤレスカラー液晶で通話中に

保留 **にタッチする**

● 保留 が点滅します。

2 ワイヤレスカラー液晶

切 **にタッチする**

3 子 機

充電器から取って 通話 **を押す**

●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から子機へとりつぐ

操作のしかた

1 子 機

子機で通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

充電器から取って 通話 **を押す**

●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

ひと声通知をする

UX-WB10CWをお使いのときや、UX-WB10CLに子機を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた 子機で操作

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押す

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。

●呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。

3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、**充電器から取る**

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら

切 **を押す**

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

お知らせ

● 子機からワイヤレスカラー液晶へのひと声通知はできません。子機から親機へは、内線通話になります。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

ひと声転送をする

UX-WB10CWをお使いのときや、UX-WB10CLに子機を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた 子機で操作

1 子機

子機で外線通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージを話し終わったら
子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

通話 **を押す**
または
内線/クリア 保留 **を押す**

- 外の相手の方と通話できます。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外の相手の方との通話に戻ります。

第3章 コピー／ファクス

コピー／ファクスをする前に

使用できる原稿

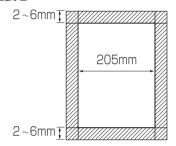
■ セットできる原稿のサイズ

- コピーするときは記録紙がA4サイズなのでA4サイズの原稿（210mm×297mm）までしかプリントできません。
  ただし、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。（分割コピー ☞9-8ページ）

＜厚さの目安＞
新聞紙の厚さは約0.05〜0.06mmです。
上質紙の厚さは約0.10mmです。
官製はがきの厚さは約0.23mmです。
この取扱説明書の表紙の紙厚は約0.14mmです。
この取扱説明書の本文の紙厚は約0.09mmです。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅　205mm
- 最大読み取り長　送信原稿長（128〜500mm)から上下とも2〜6mmを引いた長さ

■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ297mmを超える原稿
- 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの（例：写真など）
- フィルム状のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの

※市販のキャリアシートは使用できません。

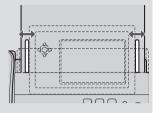
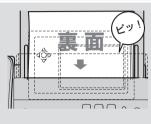
お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。（汚れたときは ☞8-4、8-6ページ）

原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に10枚まで）

操作のしかた

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 原稿はウラ向きに！ コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に10枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込み始めて「ピッ」と鳴ったら、手を離してください。

●「原稿をセットしました」と表示されます。

■ **11枚以上の原稿があるとき**

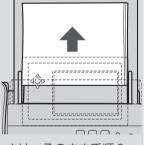
10枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す（原稿排出）

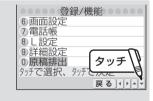
記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

操作のしかた

取り付けて操作

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

●原稿が１枚だけのときは、そのまま手順２へ進みます。

2 登録/機能 にタッチする

3 ▲ または ▼ にタッチして「原稿排出」を選ぶ

4 「原稿排出」にもう一度タッチする

●原稿が自動的に排出されます。

●原稿が排出されないときは（☞8-7ページ）

お知らせ

● 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。上記の「原稿を取り出す（原稿排出）」の操作をする、または「原稿がつまったときは」（☞8-7ページ）を参照して取り出してください。

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。
（ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けていないと、画質・濃度を選ぶことはできません。）

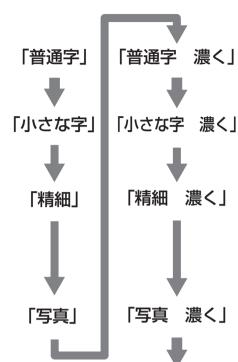
操作のしかた 取り付けて操作

1 画質 をタッチするたびに画質・濃度が切り替わる

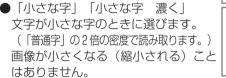
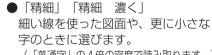
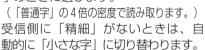
- 1回タッチすると「普通字」を表示します。画質・濃度を表示中にもう1回タッチすると切り替わります。
- 選ぶことができる画質・濃度は3-5ページをご覧ください。
- 画質を選ばなかった場合、コピーのときは「小さな字」、ファクス送信のときは「普通字」に設定されます。

■ **選んだ画質を取り消すときは**

おわる にタッチします。

■選べる画質・濃度について

- 「普通字」「普通字　濃く」
  文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

- 「小さな字」「小さな字　濃く」
  文字が小さな字のときに選びます。
  （「普通字」の2倍の密度で読み取ります。）
  画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

- 「精細」「精細　濃く」
  細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。
  （「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）
  受信側に「精細」がないときは、自動的に「小さな字」に切り替わります。

- 「写真」「写真　濃く」
  濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※原稿の文字などが薄いときは「濃く」を選びます。

お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送るとファクスの送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「普通字」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。また「普通字　濃く」を選んでも、「小さな字　濃く」でコピーされます。「写真」「写真　濃く」「精細」「精細　濃く」は、設定のとおりにコピーされます。
- ファクスを送信する場合に画質を選ばなかったときは、自動的に「普通字」が選ばれます。
- ファクス送信中やコピー中に画質を切り替えると、次の原稿から選んだ画質が有効になります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。
ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。
たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

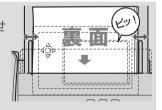
●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

等倍でコピーする

一度に10枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

操作のしかた

置いたまま

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。
（一度に10枚まで）

●「原稿をセットしました」と表示されます。

●画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
カラー液晶を取り外しているときは、自動的に「小さな字」でコピーします。
（画質を選ぶことはできません。）

2 コピー/印刷 **を押す**

●コピーが始まります。

●ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、上の表示は出ません。

■ 拡大／縮小／複数枚コピーをするときは（☞3-7ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞8-7ページ）

■ 記録紙がつまったときは（☞8-8ページ）

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

お知らせ

● 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により正確な等倍サイズにはならないことがあります。

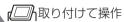
● 通話中にコピーを始めることはできません。

● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。親機のオンフックボタンを押しても、相手からの声は聞こえますがお話しはできません。

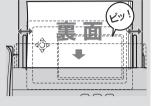
● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

拡大／縮小／複数枚コピーする

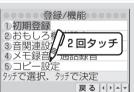
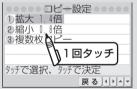
拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピーなどができます。

操作のしかた

取り付けて操作

置いたまま

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

- コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）

2 登録/機能 **にタッチする**

3 **「コピー設定」に2回タッチする**

4 **使用するコピーの設定をタッチして選ぶ**

5 **選んだ設定にもう一度タッチして決定する**

6 コピー/印刷 **を押す**

- コピーが始まります。
- コピー終了後、等倍に戻ります。

手順５で……

「拡大1.4倍」を選んだとき

140%に拡大してコピーします。

○の位置を基準に拡大します。

「縮小0.8倍」を選んだとき

80%に縮小してコピーします。

原稿挿入方向

○の位置を基準に縮小します。

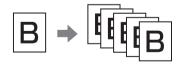
「複数枚コピー」を選んだとき

複数枚のコピーをします。

画面の数字キーにタッチして枚数を入力し、入力終了 を押します。（最大５枚）

■ **複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**

枚数を入力し直します。１～５の数字キーにタッチすると枚数が変更されます。

■ **等倍コピーをするときは（☞3-6ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

■ **記録紙がつまったときは（☞8-8ページ）**

お知らせ

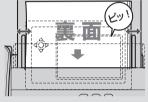
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

ファクスを送る

親機でお話ししてから ファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に10枚までセットできます。

操作ガイド ? にタッチするとファクス送信の案内が表示されます。

操作のしかた

取り外してもOK！

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●「原稿をセットしました」と表示されます。
●画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 受話器を取る

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（☞3-10ページ）

3 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
画 質 | 電話帳 | 着信記録 | 登録/機能

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは、ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（上記）。

4 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて FAXスタート **を押す**

●相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
●相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）
※お使いの環境によっては、おまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたらFAXスタートボタンを押してください。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。8-7ページの手順で取り除いてください。）

5 受話器を戻す

受話器を戻してください。（受話器を戻しても回線は切れません）
FAX通信中
画 質

●受話器を戻しても回線は切れません。
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ **送信前に途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **11枚以上の原稿があるときは（☞3-3ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-27ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞3-3ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞3-16ページ）**

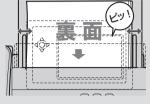
■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

■ **取り外したワイヤレスカラー液晶でお話ししてからファクスを送るには**
① 親機で原稿ガイドを合わせて、原稿をウラ向きにセットしておく
② ワイヤレスカラー液晶の 電話モード にタッチする
③ 画面の数字にタッチして電話番号をダイヤルする
④ 通 話 にタッチする
⑤ 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて FAX切替 にタッチする
このあと待機画面に戻ります。（電話が切れます。）

■ **ファクス送信後のアラーム音を鳴らさないようにするには**
「終了音を鳴らす」（☞5-14ページ）の操作で設定を切り替えます。

■ **おまかせ送信とは**
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルして、お話ししないでファクスを送ることができます。

操作のしかた 取り外してもOK！　置いたまま

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
  ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 オンフック を押す

オンフックダイヤルモード

画 質｜電話帳｜着信記録｜登録/機能

- ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、上の表示は出ません。

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質｜電話帳｜着信記録｜登録/機能

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは、ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（上記）。

4 電話がつながったら
FAXスタート **を押す**

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。8-7ページの手順で取り除いてください。）
- ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

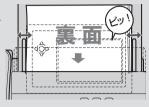
オンフック を押します。

お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。
- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
- 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」音が聞こえます。

海外へファクスを送る

時差など考えて上手にご利用ください。
アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合を例にとって説明します。

操作のしかた　取り外してもOK！

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。
（一度に10枚まで）

●「原稿をセットしました」と表示されます。

●画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。
（画質を選ぶことはできません。）

2 受話器を取る

3 電話会社の識別番号をダイヤルする

●「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要はありません。

4 010をダイヤルする

5 国番号を入れる

（例）アメリカ
1

XXXX0101
画 質　電話帳　着信記録　登録/機能

6 市外局番を入れる

（例）2 1 2

XXXX0101212
画 質　電話帳　着信記録　登録/機能

●最初にくる「0」は必要ありません。

7 ファクス番号をダイヤルする

10121212345 67
画 質　電話帳　着信記録　登録/機能

（例）1 2 3 - 4 5 6 7

8 電話がつながったら
FAXスタート **を押す**

●送信が始まります。

●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。8-7ページの手順で取り除いてください。）

●相手の方が電話に出る前にFAXスタートボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

9 受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

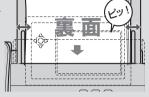
● 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。

● 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

ワイヤレスカラー液晶の電話帳でファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。ワイヤレスカラー液晶と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞2-13〜2-15、2-21ページ)

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
  ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 **電話帳 にタッチする**

3 **一覧表示 にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

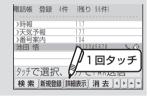
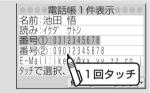
停止 を押します。

■ **受話器を取ってファクスを送るときは**

① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、電話帳 にタッチする
③ 一覧表示 にタッチする
④ ファクスを送る相手の方にタッチして選ぶ（第1番号に送るときは、このあと もう一度タッチして送ることもできます。）
⑤ 詳細表示 にタッチし、電話番号（第1番号または第2番号）にタッチして選ぶ
⑥ 選んだ番号にもう一度タッチし、相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタート を押す
⑦ 受話器を戻す

4 **ファクスを送る相手の方をタッチして選ぶ**

- 第1番号にファクスを送るときは、このあとFAXスタートボタンを押して送信することもできます。

5 **詳細表示 にタッチする**

6 **電話番号（第1番号または第2番号）をタッチして選ぶ**

- このあと、選んだ番号にもう一度タッチして送信することもできます。
- ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、選んだ番号にもう一度タッチして決定し、呼出音が鳴り始めたら FAX切替 にタッチします。

7 **FAXスタート を押す**

- 自動的に送信を始めます。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら****（☞8-27ページ）**

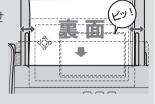
■ **原稿がつまったときは****（☞8-7ページ）**

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）

親機の再ダイヤルでファクスを送る

相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

操作のしかた　取り外してもOK！　置いたまま

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●「原稿をセットしました」と表示されます。
●画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 再ダイヤル ◯ **を押す**

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは、ディスプレイに相手の方の名前（番号）が表示されます。

3 FAXスタート **を押す**

●自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-27ページ）**

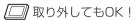
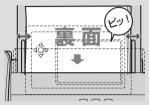
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-32ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）

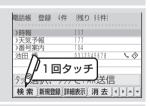
ワイヤレスカラー液晶の電話帳から名前で検索してファクスを送る

名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！ 置いたまま

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

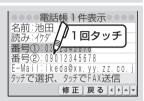
2 電話帳 **にタッチし、** 一覧表示 **にタッチする**

3 検 索 **にタッチする**

4 **名前の「読み」を入力する**（☞1-56～1-70ページ）

- 「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

5 入力終了 **にタッチする**

- 第1番号にファクスを送るときは、このあと、FAXスタートボタンを押して送信することもできます。

6 詳細表示 **にタッチし、電話番号（第1番号または第2番号）にタッチして選ぶ**

- ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、選んだ番号にもう一度タッチして決定し、呼出音が鳴り始めたら FAX切替 にタッチします。

7 FAXスタート **を押す**

- 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。
- 手順6のあと、選んだ番号にもう一度タッチして送信することもできます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■ **途中でやめるときは**

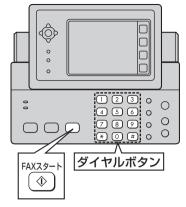
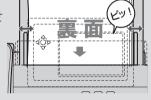
停止 を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

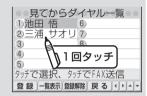
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。

見てからダイヤルでファクスを送る

見てからダイヤルを利用して、簡単にファクスを送ることができます。
見てからダイヤルを利用するには、あらかじめワイヤレスカラー液晶の電話帳から番号を登録しておく必要があります。(☞2-28ページ)

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）
  ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 電話帳 にタッチする

3 ファクスを送る相手の方の名前にタッチして選ぶ

- 各項目の番号をダイヤルボタンで入力してファクスを送ることもできます。

4 もう一度タッチして決定する

- 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。電話をかける番号は、ワイヤレスカラー液晶の電話帳に登録されている第１番号となります。
- ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、このあと呼出音が鳴り始めたら FAX切替 にタッチします。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

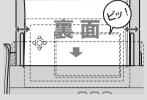
■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。

子機の操作でファクスを送る

子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送ることができます。

操作のしかた 消灯

1

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 「原稿をセットしました」と表示されます。
- 画質を選ぶときは（☞3-4ページ）ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

（通話）を押して、相手の方の番号をダイヤルする

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

▲または▼で相手の方を選び、（通話）を押す

- 子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

◁を押したあと、▲または▼で相手の方を選び、（通話）を押す

3 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

（機能）を押す

- 機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞3-9ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

ファクス送信が始まる前（手順３まで）は、（切）を押します。

ファクス送信が始まったあとは、親機の（停止）を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-7ページ）**

■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-33ページ）**

お知らせ

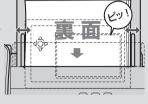
- 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
- 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。

子機の電話帳から名前の頭文字で検索してファクスを送る

子機の電話帳に登録されている相手の方を選ぶとき、名前の頭文字で検索して選ぶことができます。

操作のしかた

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●「原稿をセットしました」と表示されます。
●画質を選ぶときは（☞3-4ページ）ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、自動的に「普通字」で送信します。（画質を選ぶことはできません。）

2 子機

を押す

3 子機

相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する
（例）「イ」で探す：
を 2 回押す

4 子機

を押す

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。
●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

5 子機

▲または▼で相手の方を選び、を押す

●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

6 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

を押す

●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞3-9ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

7 子機

充電器に戻す

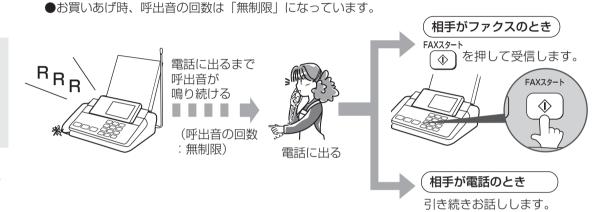
■ **途中でやめるときは**
を押します。

ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の２つの種類があります。
受信したファクスのプリントのしかたは、「見てからプリント」「メモリー受信」「記録紙受信」から選びます。

在宅モード（家にいるとき）

■在宅モード時の操作（☞3-20ページ）

●お買いあげ時、呼出音の回数は「無制限」になっています。

一定の呼出音が鳴った（１～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。
（☞3-23～3-24ページ）
ただし、相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。FAXスタートボタンを押して受信してください。

お知らせ

● 呼出音の回数を１回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）

留守モード（留守にするとき）

■留守モード時の動作（☞4-2～4-4ページ）

RRR

設定した回数の呼出音が鳴る

（呼出音の回数：4回）

※呼出音の回数は変更できます。（☞4-3ページ）

※お買いあげ時、呼出音の回数は「4回」になっています。

応答メッセージが流れる

「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件を…」

相手がファクスのとき

相手がスタートボタンを押すと自動的に受信します。

相手が電話のとき

通常の留守番電話の動作になります。

もしもし
山田です。…

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定（☞9-8ページ）を「なし」にします。

※ただし、「なし」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。

ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、次の3通りです。お買いあげ時は、「メモリー受信」に設定されています。

変更するときは「FAX受信方法を選ぶ」で設定します。（☞5-14ページ）

見てからプリント（☞3-25～3-29ページ）‥ ファクスをメモリー受信（※）し、ディスプレイに表示して確認することができます。内容を確認してから、必要なファクスだけプリントできます。（自動的にはプリントしません。）

メモリー受信 ‥‥‥ ファクスをメモリー受信（※）してから自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

記録紙受信 ‥‥‥‥ ファクスを受信しながら自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。

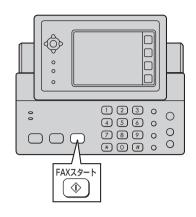
※ メモリー受信とは

送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

電話に出てからファクスを受ける

親機で電話に出てからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

原稿をセットしていない状態で操作してください。

操作のしかた

取り外してもOK！

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて
FAXスタート **を押す**

●受信が始まります。

●受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

3 受話器を戻す

●ファクス受信が終わると、終了音が聞こえます。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-8ページ）

※ 回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら FAXスタート （子機使用中のときは 機能 ）を押してください。

※ 【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ **呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えるときは**
（☞3-23～3-24ページ）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を検出すると、ファクス受信に切り替わります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅モード時のコール回数」を6回以下に設定してください。

7回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。

ワイヤレスカラー液晶で電話に出てからファクスを受ける（親機から取り外しているとき）

親機に原稿をセットしていない状態で操作してください。

操作のしかた タッチペン

1 呼出音が鳴ったら、 通 話 **にタッチする**

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて FAX切替 **にタッチする**

●親機に原稿がセットされているときに FAX切替 にタッチすると送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

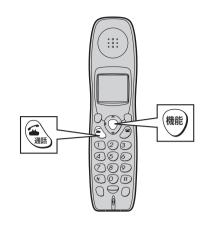
（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-8ページ）

※ 回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら FAX切替 をタッチしてください。

お知らせ

- キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- コピー中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、ワイヤレスカラー液晶の「FAX切替」にタッチしてください。

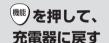
子機で電話に出てから ファクスを受ける

親機に原稿をセットしていない状態で操作してください。

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
(機能)を押して、充電器に戻す

●親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-8ページ）

※ 回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら(機能)を押してください。

お知らせ

● キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。

● コピー中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。

● 固定メッセージが流れている間に、親機の停電時端子に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。

● 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機のFAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

親機で自動的にファクスを受ける

呼出音の回数を設定（☞3-24ページ）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

相手側

電話をかけている
（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）

こちら側　（呼出音の回数を6回に設定しているとき）

呼出音が鳴る

呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、FAXスタート を押してから受話器を戻してください。

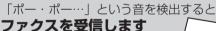
プルル(1回目)
:
プルル(6回目)

固定応答メッセージが流れる

6回鳴っても電話に出ないと
ファクスから自動的に
固定応答メッセージが流れる

応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

相手の方がスタートボタンを押す

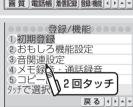
「ポー・ポー…」という音を検出すると
ファクスを受信します

お知らせ

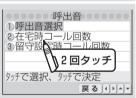
- 呼出音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、「自動的にファクスを受けるときの呼出音の回数を変える」の操作で、呼出音の回数を6回以下に設定してください。（☞3-24ページ）
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（☞4-2～4-4ページ）
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、FAXスタートボタンを押して受信してください。

ファクスを自動的に受けるときの、呼出音の回数を変える

操作のしかた

1 登録/機能 にタッチする

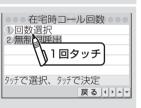
2 「音関連設定」に２回タッチする

3 「呼出音」に２回タッチする

4 「在宅時コール回数」に２回タッチする

5 「回数選択」にタッチして選ぶ

6 もう一度「回数選択」にタッチして決定する

7 呼出音の回数を２ケタで入力する（01～25回）

8 入力終了 にタッチする

9 おわる にタッチする

■ **「無制限呼出」になっているときは**

呼出音が鳴り続けて、応答しません。
（お買いあげ時は「無制限呼出」になっています。）

■ **受信できない状態のときは**

呼出音が鳴り続けて、応答しません。

■ **呼出音の種類を変えるときは**
（☞1-45ページ）

メモリー受信したファクスをワイヤレスカラー液晶で見る（見てからプリント機能）

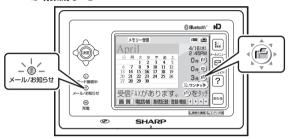
見てからプリント機能とは

メモリー受信したファクスをワイヤレスカラー液晶で確認してから、必要なものをプリントすることができます。
ワイヤレスカラー液晶を取り外していてもご利用になれます。

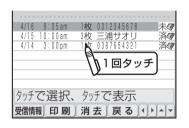
見てからプリント機能を使うときは、あらかじめ次の設定をしてください。（☞5-14ページ）
・「FAX受信方法を選ぶ」→「見てからプリント」

メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

1 ファクスを受信したことが表示され、メール/お知らせランプと受信ファクスアイコンが点滅する

2 にタッチし、「FAX受信リスト」を表示する

3 表示したい受信ファクスにタッチして選ぶ
（表示されていないファクスを選ぶときは ▼ ▲ をタッチして選びます。）

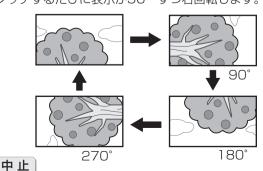
4 もう一度タッチして決定する

おもな操作について

▲▼ たて方向にスクロールできることを示しています。
◀▶ よこ方向にスクロールできることを示しています。

倍率切替/回転

タッチすると 倍率切替 回転 中止 が表示されます。

倍率切替（☞3-29ページ）
タッチするたびに拡大／縮小／標準表示を切り替えます。

回転（☞3-29ページ）
タッチするたびに表示が90°ずつ右回転します。

中止
「倍率切替」と「回転」の操作を終了します。

次ページ（☞3-29ページ）
次のページを表示します。

印刷（☞3-29ページ）
表示中のファクスをプリントします。

戻る
1つ前の画面に戻します。

データを消去するには（☞3-31ページ）

「FAX受信リスト」で消去したいファクスを選び、消去 に2回タッチします。
また、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときは、データの表示中に キャッチ/消去 を2回押して、ページごとに消去することもできます。

■ **メモリー受信枚数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約36枚までメモリー受信できます。（受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。）

■ **メモリーがいっぱいになったときは**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。または、「FAX受信方法を選ぶ」（☞5-14ページ）の操作で「記録紙受信」に設定してください。
（「記録紙受信」の場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと受信できません。）

お知らせ

- ファクスの受信方法を「メモリー受信」に設定していると（「FAX受信方法を選ぶ」 ☞5-14ページ）、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます。（待機画面に「メモリー受信」と表示されます。）
- 「記録紙受信」の設定で受信したファクスは（「FAX受信方法を選ぶ」 ☞5-14ページ）、「見てからプリント」機能で内容を確認することはできません。

受信したファクスをワイヤレスカラー液晶に表示する

「見てからプリント」機能を使ってファクスをメモリー受信すると、受信内容をワイヤレスカラー液晶で表示して確認することができます。

操作ガイド ？ で受信データの確認方法を見ることができます。

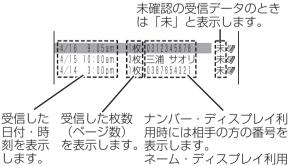
操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！　置いたまま

1 にタッチする

● が点滅しているときは、未確認の受信データがあります。

2 表示したい受信データにタッチして選ぶ

● 8件目以降は にタッチして表示させます。

3 もう1度タッチして決定する

4 メモリー受信したデータが表示される

●表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。
（☞3-28～3-29ページ）

5 おわる にタッチする

●待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **FAX受信リストについて**

■ **「データがありません」と表示したときは**

メモリー受信されているデータはありません。

■ **受信情報を確認したいときは**

にタッチしたあと、受信情報 にタッチする。
（受信FAXの件数、未確認FAXの件数、メモリー残量（%）が約5秒間表示されます。）

お知らせ

● A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。

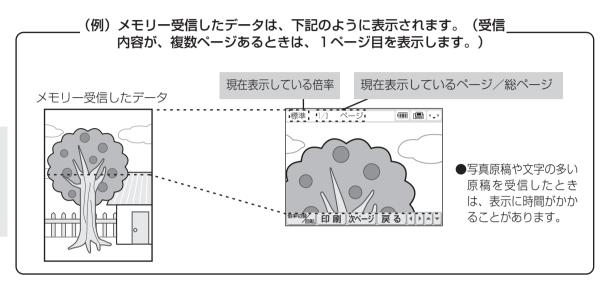
● メモリー受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

表示したファクスの見かた

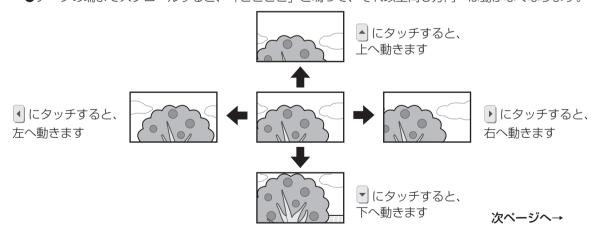
メモリー受信した内容をワイヤレスカラー液晶で表示することができます。（☞3-25ページ）
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

（例）メモリー受信したデータは、下記のように表示されます。（受信内容が、複数ページあるときは、１ページ目を表示します。）

●写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！　置いたまま

■**表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）**

●データの端までスクロールすると、「ピピピピ」と鳴って、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

次ページへ→

→つづき

■表示しているデータを拡大／縮小／標準表示する

倍率切替/回転 にタッチしてから 倍率切替 をタッチするたびに拡大／縮小／標準表示されます。

■表示しているデータを回転する

倍率切替/回転 にタッチしてから 回転 をタッチするたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。

■ページを変える

複数ページをメモリー受信しているデータのときは、 次ページ をタッチするたびに次のページを表示します。
受信データが1ページのみのときは、タッチしても無効となります。

●最後のページを表示しているときに 次ページ にタッチすると1ページ目に戻ります。

■表示しているページをプリントする

表示中に 印刷 にタッチする
表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）
※複数ページのときは、プリントしたページのみメモリーから削除されます。

■表示しているページを消去する（ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときのみ）

表示中に キャッチ/消去 を2回押す

※複数ページのときは、表示していたページのみメモリーから削除されます。
　1枚のみのときもプリントしたFAXデータはメモリーから削除されます。

■ メモリー受信したデータを1件ずつ消去するときは
（☞3-31ページ）

お知らせ

- 拡大／縮小表示中にコピー/印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容がA4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 （受信）にタッチする

2 プリントしたい受信データをタッチして選ぶ

● 8件目以降は ▼ にタッチして表示させます。

3 印 刷 にタッチする

●プリントを開始します。プリントした受信データはメモリーから消えます。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1ページずつプリントするときは**

① （受信）にタッチする（FAX受信リストが表示されます。）
② プリントしたい受信データをタッチして選ぶ
③ 選んだデータにもう一度タッチする（選んだ受信データの1ページ目が表示されます。）
④ 次ページ にタッチしてプリントしたいページのみを表示させる
⑤ 印 刷 にタッチする（表示していたページをプリントします。プリントしたページは、メモリーから消えます。）

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞8-9～8-11ページ）してください。

お知らせ

● プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

メモリー受信したファクスを消去する

メモリー受信した内容を記録紙にプリントしないで、FAX受信リストから選んで消去することができます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 （アイコン）**にタッチする**

2 **消去したい受信データにタッチして選ぶ**

●８件目以降は（▼）にタッチして表示させます。

3 消去 **にタッチする**

4 もう一度 消去 **にタッチする**

●選んだ受信データが消去されます。

5 おわる **にタッチする**

●他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **確認済みの受信データを消去するときは**

ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けて操作します。

① キャッチ/消去 を押し、「確認済受信FAX 全消去」に２回タッチする

② 「する」に２回タッチする

■ **すべてのメモリー受信データを消去するときは**

ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けて操作します。0

① キャッチ/消去 を押し、「受信FAX 全消去」に２回タッチする

② 「する」に２回タッチする

■ **１ページずつ消去するときは**

ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けて操作します。

① （アイコン）にタッチする（FAX受信リストが表示されます。）

② 消去したい受信データをタッチして選ぶ

③ 選んだデータにもう一度タッチする（選んだ受信データの１ページ目が表示されます。）

④ 次ページ にタッチして消去したいページを表示させる

⑤ キャッチ/消去 を押す

⑥ もう一度、キャッチ/消去 を押す（表示していたページが消去されます。）

⑦ おわる を押す（他に受信データがないときは、自動的に待機画面に戻ります。）